

学校通信

名城大学附属高等学校
名城大学附属高等学校PTA

2025.7.31 No.175



夏休み特集号

ご挨拶

PTA会長より／皆さんへ伝えたいこと

名城 TOPICS

PTA 常任委員会・PTA 評議員会／令和7年度 PTA 総会／PTA 常任委員会／PTA 教育講演会／
PTA 合同パトロール／入学式／スポーツテスト／名城サロン／教育実習／名城オリンピック／
部活動全国大会8月

新任教員挨拶
学級担任・在籍数一覧
部活動表彰
事務室より

皆さんへ伝えたいこと

PTA 会長 桑原 智美



名城大学附属高等学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、はじめまして。本年度PTA会長を務めさせていただきます桑原智美と申します。皆様方におかれましては平素よりPTA活動に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、生徒たちが安全に充実した学校生活を送れるよう、日々ご指導いただいている先生方には大変感謝しております。保護者を代表しまして心よりお礼申し上げます。

今回、会長という大役をお請けし不安もございますが、常任委員、評議員の方々のお力をお借りしながら、微力ではございますが精一杯務めさせて頂きたいと思っております。一年間よろしくお願い致します。

さて、今回、自分の言葉を、皆様に直接聞いていただけるという貴重な機会を頂きましたので、各学年の皆さん、保護者の皆様にお手紙を出すような気持ちで書かせて頂こうと筆を執らせていただきました。

早速ですが、私には娘が二人います。長女は大学2年生、次女は在学中の3年生です。実は長女も本校の卒業生ということもあり、わが家がお世話になり始めてから5年が経とうとしています。それぞれに性格の違いや個性があり、また、お友達や先生方との関わり方によって、行事一つ取り上げてみても楽しみ方や感じ方が違うため、二人の話を聞いているだけでも、私が本校に対して受ける印象が違いました。我が子二人を通してしか分かりませんが、この5年で感じ、思ったことを皆さんにお伝え出来たらと思います。

まずは、1年生の皆さんへ

入学してから3か月ほどが経ち、少しずつ学校にも慣れてきた頃かと思っております。名城オリンピックはどうでしたか？中学までの体育祭とは全く違う盛り上がり方があったのではないのでしょうか？それまであまり話したことも無かったクラスメイトとも、一気に仲良くなれたのではないかと思います。夏休み明けのテストが終わると、次は文化祭に向けての準備が始まります。クラスが一丸となり、一つのものを、企画し作り上げ成功させるという、名オリとはまた一味違う達成感を感じられると思います。そして、学年末ごろには「探究DAY」という行事が待っています。他学年、他学科、他クラスの生徒と同じ班になり二日間を過ごします。人見知りの子もいるかと思いますが、少し勇気をだして自分から話しかけてみてください。ちょっとした事がきっかけで仲良くなれたりするものです。他の学校では経験出来ないせっかくの機会です。是非、有意義な二日間になるようにしてみてください。

次に、2年生の皆さんへ

四月のクラス替えから3か月、クラスにはもう慣れましたか？名城高校は3年生になるときのクラス替えがないため、このクラスメイトと共に二年間過ごすことになります。学年末には修学旅行が控えていますね。学科によって行先は違いますが、どの学科も毎年とても楽しかったと聞きます。皆さんも最高の思い出をつくって来ててください。そして、部活動では、大半の部活が先輩方の引退に伴い、自分達が上級生として責任ある立場になり、色々と不安に感じてしまうこともあるのではないかと思います。また、進路についても考えていかなければいけない時期でもあり、漠然とした不安をかかえてしまうかもしれません。そんな時は担任の先生や部活の顧問の先生、友達や先輩など信頼できる人に相談してみるのも良いと思います。きっと力強い味方になってもらえると思います。

そして、3年生の皆さんへ

最終学年になり、大多数の子が部活の引退を迎え、本格的に受験モードに気持ちを切り替え、頑張っている頃かと思っております。不安や焦り、複雑な感情に押し潰されそうになってしまう時もあると思いますが、今は踏ん張り時です。半年後には今のみんなの努力と頑張りが実を結んでいる事と思います。ここで一つ、大学生の長女と次女の会話の中で、印象に残っている言葉を皆さんに伝えさせてください。「大学生にはクラス制度がないから、高校のクラスのみんなで過ごした時間や、受験に向けて一緒に勉強していた時間も、今思えば全部、何物にも変えられない大切な時間だったな。二度と戻らない高校生活、思い切り楽しみなよ。」と。(大学によってはクラス制度がある場合もあるかもしれませんが) その言葉を聞き、正しくその通りだな。と感じました。皆さんも残り約半年、勉強はもちろんですが、高校生活を思い切り楽しんでみてください。

最後に、保護者の皆様へ

長女が高校に入学した際、驚いたことがありました。小・中学校に比べ、保護者が来校する機会が圧倒的に少ないということです。来校するのは、年に数回、長女が1年生の頃は保護者が文化祭に行ってもよいものか。などと、色々考えてしまい結局行けずじまいでした。もしかしたら保護者の方の中で、私と同じ様に文化祭に行くことを躊躇されていた方がおみえでしたら、今年はぜひお越しください。ハイクオリティの出し物や、演劇、ダンス、演奏等々、想像以上に楽しめると思います。ご子息の学校での様子も見られる良い機会でもあると思います。

最後になりますが、名城高校の皆さんが充実した学校生活を送り、一段と成長してくれることを願って、挨拶とさせていただきます。

PTA
事業

PTA 常任委員会・PTA 評議員会

5月15日に、第5回PTA常任委員会が開催されました。伊東PTA会長の挨拶に始まり、昨年度の事業報告と会計報告、今年度の事業計画と予算案についての審議、評議員の選出などが行われました。常任委員会で承認された内容を、その後開催された第1回PTA評議員会で審議し、すべて承認されました。

また、評議員会終了後には担任との懇談も行われ、有意義な懇談となりました。



PTA
事業

令和7年度 PTA総会

5月28日にPTA総会を開催しました。出席者70名、委任状提出者910名で、PTA規約第12条（構成員の3分の1以上の出席）により、会として成立しました。

伊東会長の議事進行により令和6年度PTA事業報告・決算報告・会計監査報告等が行われ、すべて承認されました。その後、令和7年度の新役員・常任委員及び顧問の選出があり、桑原新会長の議事進行で、事業計画、令和7年度予算、PTA内規の改正について審議が行われました。議題については、常任委員会の日程修正を含め、すべて承認されました。



PTA
事業

PTA 常任委員会

5月28日に、令和7年度の第1回PTA常任委員会が開催されました。PTA・教職員の常任委員が参加し、桑原会長の議事進行により、愛知県私立中学高等学校保護者会連合会の「愛のパトロール」と文化祭参加についての審議が行われました。その後、山村進路指導部長から卒業生の進路結果報告があり、国公立大学合格者が過去最高であったことが報告されました。また、角野副校長からは、今年度のPTA関係の会議・行事予定についての説明がありました。今年度も常任委員会・評議員会・教育講演会の開催のほかに、愛知県私学振興推進大会などの私学協会行事にも参加する予定です。



PTA
事業

PTA 教育講演会

5月28日大会議室において、ドルトン東京学園中等部・高等部校長の安居長敏氏による教育講演会が実施され、保護者と教職員合わせて76名が参加しました。演題は『「鋳型にはめない」教育の大切さ ～学校改革のビジョンと実践～』で、子どもに対する親の役目、生徒に対する教師の役目について話されました。現代社会で求められる力とは何か、その力をどのように付けるのかについて、ドルトン東京学園独自のプランのもとで行われている様子を知ることができました。特に、「子どもがやりたいことを大人が干渉せずに好きにやらせれば、子どもの力は付いていく。大人はその環境づくりと手助けをすることが大切。」「悪いところを変えるのではなく、整えてあげる」という言葉が印象に残りました。



PTA
事業

PTA 合同パトロール

公立私立各高校の生徒（生活）指導担当教員と名古屋市青少年家庭課の補導員（元警察官）が連携し、栄を中心とする繁華街に赴き、高校生や青少年に向け、犯罪や事故に巻き込まれることがないように声かけ運動を定期的に行っています。

7月15日には「愛のパトロール」が実施され各校PTAの方にも声かけ運動に参加していただきました。パトロールの前に補導員から青少年が巻き込まれやすい犯罪、特にSNSがらみのなりすましによる犯罪や女子高生の盗撮被害の犯罪事例を紹介していただきました。その後、栄のセントラルパーク地下街やオアシス21を補導員、教員とともに巡回、声かけ運動を行いました。このような地道な声かけ運動が青少年の非行や犯罪被害防止に大いに役立っています。



入学式

4月3日に、令和7年度入学式が第一体育館で行われました。真新しい制服に身を包んだ普通科536名、総合学科120名、合計656名の新入生が緊張した面持ちで式に出席しました。

式典は、伊藤憲人校長の告辞に続き、立花貞司理事長の祝辞が行われました。新入生宣誓を務めた余郷壮亮さんは、「誇りある名城生になれるよう、一生懸命学業に部活動に努力します。」と、力強く宣誓しました。

また、式終了後は教室へ移動し、クラス担任による学級開きが行われ、期待に胸を膨らませながら新入生は高校生活の第一歩を踏み出しました。



スポーツテスト

5月2日、スポーツテストが実施されました。2年生と3年生の皆さんは、全力で取り組み、素晴らしい成果を上げました。

特に、2年生の皆さんは1日で実施するスポーツテストは初めてにもかかわらず、緊張しながらも一生懸命に頑張りました。どの種目でも全力を尽くし、仲間と励まし合いながら挑戦する姿が印象的でした。

3年生の皆さんは、昨年の経験を活かし、さらに成長した姿を見せてくれました。自己ベストを更新するために努力し、結果を出すことができました。

これからもスポーツを通じて、体力だけでなく、仲間との絆や挑戦する心を育てていってください。

最後に、スポーツテストの運営に携わった部活動のみなさんにも感謝の気持ちを忘れずに伝えたいと思います。ありがとうございました。



名城サロン

5月13日、名城サロンが開かれ、コースの枠を超えた約60名の生徒が参加しました。SSクラス3年生の生徒達が話題提供者となり、「自分だけのロケットを作って飛ばしてみよう!」というテーマで原理を説明し、参加者は試行錯誤しながら水素燃料によるロケットづくりを体験しました。参加者から「科学は楽しい」というメッセージが伝わってきました。

5月16日は約30名の生徒が参加しました。国際クラス2年生の生徒が話題提供者となり、「ニュージーランドが教えてくれたこと」と題して、春休みに参加したニュージーランド研修で学んだことを題材に実施しました。修学旅行や研修などで海外に行くことは、自分の視野を広げるのにすばらしい機会なので、積極的に参加して、多様な価値観に触れて欲しいというメッセージが印象的でした。



教育実習

6月16日～7月4日の3週間にわたり、23名の卒業生が国語、社会、数学、理科、英語、保健体育、情報の教科において、教育実習が行われました。

実習生は、教材研究、授業の見学、指導して下さっている先生方と打ち合わせをするなど、忙しい日々を送りました。生徒の皆さんにとって、年の近い実習生に高校生の頃の話や大学の様子など聞いているようで、生徒たちにとっても貴重な機会となりました。

実習期間の後半では、この教育実習の集大成とも言える研究授業が行われ、実習生の初々しい姿に本校の教員も気持ちを新たにすきっかけとなったようです。



名城オリンピック

6月18日～20日まで名城オリンピックが開催されました。例年、時期的にも雨に悩まされてきましたが、今年度は三日間とも晴天に恵まれました。しかし、気温が上がりすぎてしまう状況になり、熱中症対策に重点を置いての開催となりました。初日の河川敷競技は学年別での実施に変更し、競技時間を短縮することで対応しました。長縄跳びやドッジボールはできるだけ体育館を活用し、体への負担を減らすように努めました。

このように、運営側としては最大限の配慮をしながらの実施となりましたが、生徒にとっては初めて全種目を実施できたことで満足感を得られた行事になったのではないかと思います。

また、開会式でマナーや気配りを忘れず、全員で学校行事を作り上げて「後味の悪くない」名城オリンピックをという話をさせて頂きました。そういった点でも生徒一人一人が意識してくれたおかげで、笑顔で終わることができ感謝しています。

今回の名城オリンピックも生徒会執行部・生徒会協力委員が主体的に動いてくれて、内容も運営もより向上したと思います。また、多くの先生方にご協力いただき無事に終了することができました。本当にありがとうございました。



部活動全国大会 8月

体操競技部・陸上部・ウエイトリフティング部・柔道部が令和7年度全国高等学校総合体育大会に出場します。体操競技部は島根県、陸上部は広島県、柔道部は岡山県、ウエイトリフティング部は鳥取県で開催されます。また、ダンス部が東京都で開催される全国高等学校ダンスドリル選手権大会に出場します。全校生徒の皆さん、応援よろしくお願いします。



「学ぶこと」を学ぶ



数学科 服部 平知

今年度から本校で勤務しております、服部と申します。数学科の教員ではありますが、大学院では教育史学を専攻し、戦後日本における「標準語」教育について研究もしていました。複数の分野に取り組んだ経験は、多少は骨の折れるものではありましたが、それ以上に、「学び」にあふれたものでした。さて、「標準語」と聞いて、皆さんはどのような言葉を思い浮かべますか。東京で話されているような言葉でしょうか、あるいは新聞に書かれているような言葉でしょうか。じつのところ、今の日本には「標準語」は存在しない、とするのが主流な見方です。意外に思った方もいるかもしれません。「標準語」というフレーズは、日常でもよく耳にするものですから。

このような、意外さ・驚きを見つけること、すなわち、当たり前と思っていたことを問い直したり、今まで考えてもみなかったことに思案を巡らせたりすることこそが「学び」であり、その醍醐味であるとは私は考えています。そしてそこでは、たとえば数学と歴史といったような分野の違いなどは、ささいなものにすぎないでしょう。

では、かかる労力の大きさは別にして、「学び」とは、常に楽しく、嬉しい発見に満ちあふれたものなのでしょうか。じつは、私はそう思いません。たとえば、「学ぶ」ことによって、他者には見えていないものが見えるようになることは少なくありません。とくに、探究活動で様々な社会課題にも目を向けることになる皆さんは、「学び」の過程において、ほかの人がみられなくなかったものや、自分がみられなかったものを「発見」してしまうこともきっとあることと思います。その「発見」は、愉快なものばかりではないでしょう。では、「学び」とは、実体のない優越感をもたせたり、見たくないものを見せたりする怖いものであり、避けた方が無難なものなのでしょうか。私は、そのようにも思っていない。先にお話した通り、「学び」とは、当たり前や未知を問うことであり、それはすなわち、自分と他者、世界とのつながりを探ることです。この姿勢がなくては、他者を認められなかったり、あるいは知覚していても、どうせただ異なるものだと思き放してしまったりにすることにつながるでしょう。

他者なしでは生きられない私たちは、学び続けることによってのみ、他者を理解し、ときに批判することに意味を持たせられるとは私は考えています。高校での「学び」は、その実践でありながら、練習でもあります。皆さんが「学ぶこと」を大いに学べるよう、誠心誠意努めたいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。

すべての答えは自分にある



社会科 伊藤 圭樹

「素晴らしい施設の中での学習環境」
「生徒の皆さんの明るく爽やかな笑顔」
「学校全体に満ち溢れる学びに向かう真摯な姿」

この4月、本校に赴任して感じた私の第一印象。担当しているクラスの生徒たちとのやり取りの一場面で心に刻まれた瞬間がありました。前期の中間試験を終え、一人一人に答案用紙を配布していた時、多くの生徒が「ありがとうございます」と受け取ってくれたのです。私も思わず、「こちらこそ」「頑張りましたね」「お疲れさまでした」と一人一人に声をかけさせていただきました。

高校生が、昼夜問わず自らの時間を費やして勉強に明け暮れ、臨んだ試験。きっと心身共に疲弊しきっているであろう試験直後に、こんなにも温かい声を当たり前のようにつけて、心配りをしてくれる。なんとステキな学校に来ることができたのか、名城大学附属高校の皆さんは、人として当たり前のことができている素晴らしい生徒たちだと感銘を受けました。この出会いに感謝したいです。

私はこれまで、小中学校の教育現場や教育委員会で37年間勤めてきました。時代は変わっても、児童生徒とともに大切にしてきた心得があります。

それは、『すべての答えは自分にある』という自らを省みる言葉です。

心が変われば、行動が変わる
行動が変われば、習慣が変わる
習慣が変われば、人格が変わる
人格が変われば、運命が変わる

これは、国内のみならず、アメリカ大リーグのプロ野球選手として活躍した松井秀喜選手の『座右の銘』です。

学業の成績、部活動の結果、友人関係など、今の自分に正面から向き合わず、その結果を親や他人のせいにしたくなるのが人間の性です。しかし、自分に正面から向き合い、「今回の結果には、何が足りなかったのか?」「それを踏まえて、次はどうしていけばよいのか?」といった心持ちになればどうでしょうか。自らの行動が変わり、習慣が変わり、人格も変わり、最後には運命、人生もが大きく変わることがあるかもしれません。

自分の前にふさがり難い、一つ一つ正面から向き合い、目指す未来を描きながら、自分がどう変わり、その「心」と向き合うことで、運命は変わるものと信じています。

小中学校という義務教育の現場から高等学校に舞台を移しても、私は名城大学附属高校の皆さんとともに、これまで大切にしてきた心得『すべての答えは自分にある』を引き続き胸に刻み、一日一日を全力投球で過ごし、ともに成長していきたいと思っています。そして、皆さんの夢の実現を心から応援します。

令和7年度 学級担任・在籍数一覧

令和7年3月25日現在

普通科【松井・早川・永田】

○は学年主任

第1学年			
クラス	学級	担任	在籍
SS	1 A 1	杉本	34
進学	1 A 2	山口	41
	1 A 3	江上 伊勢田	41
	1 A 4	谷中	41
	1 A 5	谷	41
	1 A 6	二宮	41
	1 A 7	平山	41
	1 A 8	町田	41
	1 A 9	横井	40
国際	1 A 10	○羽石 服部	33
特進	1 A 11	坂	36
	1 A 12	○丹羽	36
	1 A 13	岡田	36
	1 A 14	木下	35
出川			
SS〔34〕 1 A〔537〕 進学〔327〕 国際〔33〕 特進〔143〕			

第2学年			
クラス	学級	担任	在籍
SS	2 A 1	三輪 小池	29
進学	2 A 2 物理	○松浦	40
	2 A 3 物理	戸崎	40
	2 A 4 物理	稲吉	40
	2 A 5 物・生	吉岡	40
	2 A 6 生物	西田 宮田	40
	2 A 7 日本史	赤阪	32
	2 A 8 日本史	山内 原口	32
	2 A 9 日本史	齊藤	32
	2 A 10 世界史	○加賀	40
国際	2 A 11	小堀	28
特進	2 A 12 物理	○長木	36
	2 A 13 物理	石田	36
	2 A 14 物理	鹿末	35
	2 A 15 生物	岡山	35
	2 A 16 日本史	北村 菱田	21
	2 A 17 世界史	津田 松下	26
荻野			
SS〔29〕 2 A〔582〕 進学〔336〕 国際〔28〕 特進〔189〕			

第3学年			
クラス	学級	担任	在籍
SS	3 A 1	安藤	31
進学	3 A 2 物理	八鳥 後藤	38
	3 A 3 物理	石川	38
	3 A 4 物理	○荒木	37
	3 A 5 生物	中村	31
	3 A 6 生物	加藤 杉山	32
	3 A 7 日本史	○澁谷	34
	3 A 8 世・日	新井	34
	3 A 9 世・日	出田	35
	3 A 10 世界史	井上	34
国際	3 A 11	澤田 長田	21
特進	3 A 12 物理	○西村	39
	3 A 13 物理	荻島	39
	3 A 14 物・生	橋本 小林	40
	3 A 15 世・日	小出	42
堀尾			
SS〔31〕 3 A〔525〕 進学〔313〕 国際〔21〕 特進〔160〕			

総合学科【古沢・片野】

第1年次			
	学級	担任	在籍
	1 S 1	○富田	40
	1 S 2	塩村	40
	1 S 3	伊藤	41
渡邊			
1 S〔121〕			

第2年次			
系列	学級	担任	在籍
文系	2 S 1 社探・ビジ	○中條	28
	2 S 2 ビジネス	角	27
	2 S 3 地域交流	藤原	40
理系	2 S 4 数理	白戸	30
村瀬			
文系〔95〕 2 S〔125〕 理系〔30〕			

第3年次			
系列	学級	担任	在籍
文系	3 S 1 社探・地域	○小川	42
	3 S 2 ビジネス	紀藤	37
理系	3 S 3 数理	山中	30
黒柳			
文系〔79〕 3 S〔109〕 理系〔30〕			

在籍数一覧（休学を含む）

	1年	2年	3年	計
普通科	537	582	525	1,644
総合学科	121	125	109	355
計	658	707	634	1,999

クラス数一覧

	1年	2年	3年	計
普通科	14	17	15	46
総合学科	3	4	3	10
計	17	21	18	56

陸上競技部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会 名古屋南支部予選会

女子総合			第4位
山内莉杏	女子走幅跳		第5位
伊藤里桜	女子走幅跳		第1位
市川紗帆	女子1500m		第3位
桑原和栞	女子4×100mR		第2位
仙石理琴	女子4×100mR		第2位
伊藤里桜	女子4×100mR		第2位
長屋心	女子4×100mR		第2位
仙石理琴	女子4×400mR		第3位
伊藤里桜	女子4×400mR		第3位
余語柚奈	女子4×400mR		第3位
水谷真理	女子4×400mR		第3位
仙石理琴	女子400m		第6位
廣瀬音人	男子三段跳		第6位
森川陽介	男子三段跳		第2位
加藤卓偉	男子三段跳		第3位
丹羽壮眞	男子200m		第6位
橋本維人	男子走幅跳		第4位
森川陽介	男子走幅跳		第2位
河村悠吾	男子走幅跳		第3位
男子フィールド			第3位

第79回 愛知県高等学校総合体育大会

山内 莉里杏	女子走幅跳	第5位
伊藤 里 桜	女子走幅跳	優勝
森川 陽 介	男子三段跳	第5位
廣瀬 音 人	男子三段跳	第6位
森川 陽 介	男子走幅跳	第2位

ウエイトリフティング部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会

南川	詩乃	45kg 級	優勝
森悠	陽	55kg 級	第3位
八神	信也	55kg 級	優勝
菅原	愛斗	61kg 級	第3位
竹内	佑綺	61kg 級	優勝
森光	矢	67kg 級	第3位
浅井	寿音	73kg 級	第2位
久留	淳弘	81kg 級	優勝
水野	颯人	89kg 級	優勝
満仲	輝心	96kg 級	優勝
女子団体			優勝
男子団体			優勝

第72回 東海高等学校総合体育大会

馬場嘉音	+102kg 級	第3位
八神信也	55kg 級	第1位
竹内佑綺	61kg 級	第2位
久留淳弘	81kg 級	第3位
水野颯人	96kg 級	第2位
学校団体		第3位

卓球部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会 名古屋南支部予選会
女子学校対抗

第3位

男子学校対抗				準優勝
杉浦輝磨	男子シングルス			第3位
亀地徹昭	男子シングルス			第3位
杉浦輝磨	男子ダブルス			準優勝
亀地徹昭	男子ダブルス			準優勝

剣道部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会 名古屋南支部予選会
女子団体

第5位

男子ハンドボール部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会 名古屋南支部予選会

第2位

第6回 U-18ハンドボール愛知県リーグ2024

男子県1部リーグ	優勝
男子地区リーグ	優勝

男子バスケットボール部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会 名古屋南支部予選会

第7位

令和6年度 愛知県高等学校新人体育大会 名南支部予選会

第6位

男子バレーボール部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会 名古屋南支部予選会

第2位

女子バレーボール部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会 名古屋南支部予選会

第3位

体操競技部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会 名古屋南支部予選会

塚本 啓 心	男子個人選手権	優勝
本田 稜 汰	男子個人選手権	第2位
藤下 航太朗	男子個人選手権	第3位
水谷 優 太	男子個人選手権	第4位
柴田 夏 来	男子個人選手権	第5位
稲倉 雄 太	男子個人選手権	第6位
男子チーム選手権		優勝

第79回 愛知県高等学校総合体育大会

塚本 啓 心	男子種目別	つり輪	第2位
藤下 航太朗	男子種目別	つり輪	第3位
本田 稜 汰	男子種目別	つり輪	優勝
男子チーム選手権			優勝
藤下 航太朗	男子種目別	あん馬	第2位
田中 瑛	男子種目別	あん馬	第3位
稲倉 雄 太	男子種目別	あん馬	第3位
塚本 啓 心	男子種目別	あん馬	優勝
本田 稜 汰	男子種目別	跳馬	第2位
水谷 優 太	男子種目別	跳馬	第3位
塚本 啓 心	男子種目別	跳馬	優勝
本田 稜 汰	男子種目別	鉄棒	第2位
水谷 優 太	男子種目別	鉄棒	第3位

部活動表彰

1
2 3

塚本啓心	男子種目別 鉄棒	優勝
塚本啓心	男子種目別 平行棒	第2位
本田稜汰	男子種目別 平行棒	第3位
藤下航太郎	男子種目別 平行棒	優勝
本田稜汰	男子種目別 ゆか	第2位
塚本啓心	男子種目別 ゆか	優勝
本田稜汰	男子個人選手権	第2位
藤下航太郎	男子個人選手権	第3位
田中瑛	男子個人選手権	第4位
水谷優太	男子個人選手権	第5位
塚本啓心	男子個人選手権	優勝

令和7年度 愛知県体操競技選手権大会 国民スポーツ大会 愛知県選手選考会

少年男子 団体総合				優勝
本 田 稜 汰	少年男子種目別	つり輪	優勝	
塚 本 啓 心	少年男子種目別	あん馬	優勝	
塚 本 啓 心	少年男子種目別	跳馬	優勝	
塚 本 啓 心	少年男子種目別	鉄棒	優勝	
本 田 稜 汰	少年男子種目別	平行棒	優勝	
本 田 稜 汰	少年男子種目別	ゆか	優勝	
本 田 稜 汰	少年男子個人総合		第2位	
水 谷 優 太	少年男子個人総合		第3位	
田 中 瑛	少年男子個人総合		第4位	
藤 下 航太郎	少年男子個人総合		第4位	
塚 本 啓 心	少年男子個人総合		優勝	

ラグビー部

第79回 愛知県高等学校総合体育大会 名古屋南支部予選会 第3位

スキー部

第46回 愛知県高校生スキー大会

藤原沙月	女子フリー	第4位
船橋和花	女子フリー	第5位
奥崎楓乃	女子フリー	第6位
藤原沙月	女子クラシカル	第4位
船橋和花	女子クラシカル	第5位
林 柊向子	女子クラシカル	第6位
眞田知咲希	女子スラローム	第2位
川合紬生	女子スラローム	第3位
竹内茉白	女子スラローム	第4位
美濃屋杜羽	女子スラローム	第6位
眞田知咲希	女子ジャイアントスラローム	第2位
川合紬生	女子ジャイアントスラローム	第4位
竹内茉白	女子ジャイアントスラローム	第5位
足立 壮	男子クラシカル	第4位
松葉吉哉	男子クラシカル	第5位
山本拓真	男子クラシカル	第6位
眞鍋 俊	男子スラローム	第3位
小林暖人	男子スラローム	第5位
藤本涼介	男子スラローム	第6位
松葉吉哉	男子フリー	第3位
足立 壮	男子フリー	第4位
宮川壮平	男子フリー	第5位
眞鍋 俊	男子ジャイアントスラローム	第3位
深津慶多	男子ジャイアントスラローム	第5位

石原慶弥 男子ジャイアントスラローム ... 第6位

ダンス部

USA School&College Nationals 2025

Song/Pom 部門 Medium A 第5位

放送部

第2回 全国高校生「地域の自然」甲子園

動画クリエイト部門 グランプリ

吹奏楽部

愛知県中村警察署

..... 感謝状

メカトロ部

第5回 全国高等学校 AI アスリート選手権大会

..... PE-BANK 賞

囲碁部

第17回 中部高校生の部囲碁選手権大会

石川 諒 磨 A クラス 優勝

REALIZE

REALIZE AWARD 2024

岡山 由 来 優秀賞

第3回 地域探究論文高校生コンテスト 弘前大学太宰治記念 津軽賞

青山 准 也 個人部門 / 部門2 佳作

第75回記念 中日書きぞめ展

笹井 小 夏 理事長賞

第31回 新聞切り抜き作品コンクール

齊藤 穂 風 高校生の部 中日大賞

浦田 琉 花 高校生の部 優秀賞

一般社団法人情報処理学会 第7回中高生研究賞

神谷 文 洋 奨励賞

佐和田 裕 花 奨励賞

鈴木 詩 子 奨励賞

米田 浩 大 奨励賞

Bunri Creative Award 2024 地域創造のための高校生 コンテスト

土屋 文 乃 健子生活学部部門 ... 健康栄養学科賞、

中日新聞社賞、

稲沢市教育委員会賞

200日間自転車無事故無違反ラリー

生徒のみなさまへ

■ 学割証の申し込みにについて

旅行等によりJR等の片道営業キロが100kmを超える区間を乗車する場合、申請により利用できます。

- (1) 事務室で「学割申請書」を受け取り、必要事項を記入する。
- (2) 保護者印と担任印をもらう。
- (3) 「学割申請書」と「生徒手帳」を提示し事務室へ申し込む。
- (4) 申し込みした翌日以降に生徒手帳の「学割証発行控」ページを記入し、「生徒手帳」を持って事務室に取りに行く。

※年間発行枚数 8枚 (8枚を超える場合は、事務室で相談してください。)

学割証は事務室への申請後、翌日以降のお渡しとなります。

今後部活動や受験等で必要とされる方は日数に余裕をもって申請してください。

保護者のみなさまへ

■ 授業料等の納入について

授業料等は、全学年共に登録済みの学資負担者の預金口座より、引落しさせていただきます。今後の引落しは、10月10日、1月13日です。

なお、事情により納入が遅れる場合は、事務室会計グループまで、必ずご連絡ください。期日までに納入なき場合は、学則第17条第5項により退学等になることがありますので、ご承知おきください。

■ 就学支援金・愛知県の授業料軽減補助金について

就学支援金・愛知県の授業料軽減補助金の還付は、今後、第2期(7月～9月)分を10月上旬、第3期(10月～12月)分を12月下旬、第4期(1月～3月)分を3月末頃に予定しています。還付日はホームページの“在校生・保護者の方へ”にてお知らせします。

ただし、**授業料未納者には還付できませんので、ご注意ください。**

◆ 就学支援金における所得制限の撤廃について

高校生の返還不要の授業料支援の対象者の範囲が拡大されることとなりました。令和7年度より高等学校等就学支援金の所得制限の一部が事実上撤廃となり、「高等学校等就学支援金」で対象外となった方を対象とした、『高校生等臨時支援』制度として支援されます。

※令和8年度からは所得制限の完全撤廃や私立高校等の加算額の引き上げも含めたいいわゆる「高校授業料の無償化」が別途検討されています。

■ その他の市町村および奨学金

事務室前掲示やきずなネットにて随時ご案内しておりますのでご確認ください。

生徒・保護者共通

■ 住所等変更について

住所、電話番号(緊急連絡先)、保護者氏名、生徒氏名に変更があった場合には、所定用紙に必要事項を記入のうえ、担任まで届け出てください。

※所定用紙は、担任からお受け取りください。

■ 事務室の閉室について

土・日曜日・祝日以外に、下記の期間は夏季休業のため、事務室が閉室となります。

閉室期間：令和7年8月8日（金）～8月17日（日）

■ 「名城大学教育振興資金—名城サポーターズ募金—」について

<https://www.meijo-u.ac.jp/about/fund/fund01/index.html>

学校法人名城大学では、教育研究活動の充実、奨学金制度の充実、施設の整備充実、国際交流の推進などの教育研究環境の整備に対してご支援、ご協力をいただき募金事業「名城大学教育振興資金—名城サポーターズ募金—」を展開しております。

使途の一つとして附属高等学校の教育活動充実も挙げられており、部活動のみならず、探究活動にも使用させていただき、より広い活動ができております。

本誌名城 TOPICS に一部掲載されておりますよう、将来のため、充実した高校生活のため、生徒は多様な活動に挑戦をしております。ぜひ、皆様にはサポーターとなっていただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 「名城大学開学100周年記念募金」について

<https://www.meijo-gift.com/>

学校法人名城大学は2026年に開学100周年を迎えます。本法人では「名城大学開学100周年記念募金」をスタートしており、その一環として令和5年4月3日より返礼品付寄付サイト「名城ギフト」を開始することになりました。

「名城ギフト」からご寄付いただくと、本学オリジナルグッズや登録された多様な返礼品からお好きな品を1点お選びいただけます。

いただいたご寄付は開学100周年記念事業のために活用させていただきます。温かいご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

編集・発行

令和7年7月31日

名城大学附属高等学校

名城大学附属高等学校PTA

名古屋市中村区新富町1丁目3番16号

TEL 052-481-7436

<http://www.meijo-h.ed.jp>

